



2014年4月24日

会社名 飯野海運株式会社
代表者 代表取締役社長 関根知之
(コード番号 9119 東・福)
問合せ先 総務・企画グループリーダー 岡田明彦
(TEL 03-6273-3069)

中期経営計画「STEP FORWARD 2020」策定のお知らせ

当社グループは、2020年に向けたグループ企業の一層の成長を目指し、3カ年の中期経営計画「STEP FORWARD 2020」"攻めの展開へ"（計画期間:2014年4月～2017年3月）を策定いたしました。

2011年度に策定された前中期経営計画「IEG14」(Iino's Evolutionary Growth Plan to 2014 計画期間:2011年4月～2014年3月)では、当社グループの成長と進化をテーマとして、ケミカルタンカー事業の構造改革や安定収益の確保・拡大に向けた取り組みを推進し、ほぼ当初掲げた目標を達成することができました。一方で、同計画に沿ったコスト面中心の構造改革に注力した結果、将来の更なる成長へ向けての新規投資案件を大きく取り込むまでには至りませんでした。

今回の計画では、営業の展開をこれまでの守りから攻めへと転換し、2020年に向けて皆様に信頼されるグローバル企業への成長を成し遂げること、そして企業価値の持続的向上のために収益力をより一層強化してゆくことを目標としております。

「STEP FORWARD 2020」において、当社グループは、海運事業では中東積み海上輸送サービスの更なる強化のほか、シェール革命由来の物流の変化に即応すべく海外への展開を加速します。また不動産事業では、ターゲットエリア内への資産の集約、新規・再開発案件などを通じて安定収益力の更なる向上に取り組んでいく予定です。当社グループは得意分野の強みを生かした営業の展開を推進し、競争力の強化と経営効率の向上を図り、海運事業と不動産事業を両輪とした経営の一層の深度化に努めてまいります。

STEP FORWARD 2020



攻めの展開へ

計画名：『STEP FORWARD 2020』

テーマ：「攻めの展開へ」

期間：3年間

2014年4月～2017年3月

重視する指標：営業利益

重点強化策

1. 差別化による競争力強化
2. 国際ネットワークの強化
3. 安定収益基盤の更なる強化

基盤整備項目

1. 情報共有の緊密化と有効活用
2. リスク管理の強化徹底
3. 人事制度改革と組織運営強化
4. グループITインテグレーション
5. 安全の徹底と環境負荷低減への取組

設備の状況・予想運航規模・稼働棟数

		2010年度末	～IEG14～	2013年度末	～STEP FORWARD 2020～	2016年度末	Next Stage	2020年度末
海運業	オイルタンカー	8隻	<ul style="list-style-type: none"> ○ケミカルタンカー部門の構造改革を実施 ○大型LPGキャリア石炭専用船等の新規案件の獲得 	5隻	<ul style="list-style-type: none"> ○差別化による競争力の強化 ○国際ネットワークの強化 ○安定収益基盤の更なる強化 	5隻	<ul style="list-style-type: none"> ○シェールガス由来の物流の変化への対応強化 ○競争力のある船隊の整備 ○高品質な船舶管理技術の維持 	5隻+ α
	ケミカルタンカー	39隻		44隻		45隻		50隻+ α
	ドライバルクキャリア	17隻		21隻		22隻		25隻+ α
	LNGキャリア	13隻		13隻		13隻		13隻+ α
	LPGキャリア (うち大型LPGキャリア)	33隻 (3隻)		33隻 (5隻)		36隻 (6隻)		36隻+ α (6隻+ α)
合計	110隻 (3隻)	116隻 (5隻)	121隻 (6隻)	129隻+ α (6隻+ α)				
不動産業	5棟	飯野ビル営業開始	6棟	既存ビルの再開発の検討	6棟± α	ターゲットエリアへの所有ビルの集約	6棟± α	

2020年度に営業利益150億円の収益力達成を念頭に置き、ケミカルタンカーの事業規模を50隻、ドライバルクキャリアの事業規模を25隻程度の支配船腹管理体制に加え、収益の安定している不動産事業並びにオイルタンカー、ガスキャリア及び石炭専用船への取り組みなど、エネルギー船事業の強化を目指した体制整備を行います。

数値目標・方針

(単位：億円)

	2013年度 (予想実績※)	2014年度 計画	2015年度 計画	2016年度 計画	2020年度 目標
売上高	950	960	990	1,020	1,200
営業利益	63	69	85	100	150
うち海運	21	29	45	60	110
不動産	42	40	40	40	40
経常利益	54	59	72	85	
当期純利益	44	58	70	84	
自己資本		630	688	759	
有利子負債		1,218	1,244	1,188	
D/E ratio		1.95～2.0	1.8～2.0	1.6～2.0	1.5以内
営業CF		146	171	192	
投資CF		▲108～	▲176～	▲71～	
<前提> 為替		¥100/\$	¥100/\$	¥100/\$	
バンカー		\$570/mt	\$570/mt	\$570/mt	

※ 2014年1月31日公表通期予想

配当について

2014年度以降、8～12円を基準とした安定的な配当体制の確立を目指しております。

「STEP FORWARD 2020」の補足資料は、当社グループホームページに掲載しております。

<https://www.iino.co.jp/>

本資料で記述されている業績予想及び将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

以上